

平成24年度 こども環境会議ちば

平成25年2月23日（土）、習志野市のモリシアホール多目的ホールにて、「平成24年度こども環境会議ちば」を開催しました。

午前のプログラムでは、各クラブが活動発表を行いました。
今年4つのクラブが発表、その内容を紹介します。

のはらくらぶ（市川市）

のはらくらぶは
みんな絵を描くのが
上手なんだ。



昨年さくねんに続いて、今年つづも発表してくれたよ。
市川市大野にあるこども水田すいでんで主に活動おもしているんだ。
「自然しぜんからの発見はっけんと表現ひょうげん」がモットーなんだって。



スケッチしたガウラの花

ギリシア語のガウロス
（華麗かれいな、堂々どうどうとした）が
名前の由来だよ。



市津・ちはら台自然楽校（市原市）



アンケートでは
バンブーハウスつくを作って
みだいってという意見いけんが
とても多おほかったんだ

たくさんの活動かつどうの中から、今回こんかいは「水生生物すいせいせいぶつによる水質調査すいしつちようさ」
「上総掘りかすさぼ」はっぴようについて発表はっぴようしてくれたよ。

※上総掘りとは
掘り抜き井戸の代表的な工法。上総掘りの用具が重要有形民俗文化財に、上総掘りの
技術は重要無形民俗文化財に指定されている。



ぬく森エコクラブ (大網白里市)

なつ ひろ
夏のゴミ拾いは
だれ さんか
誰でも参加できるよ!



ちいき だんたい だいがくせい いっしょ かつどう
こどもエコクラブだけでなく、地域の団体や大学生などと一緒に活動することもあるんだよ。

はっぴょう さいばい
今年の発表のテーマは「サトウキビ栽培」。

でき あ とうみつ し でき
出来上がったサトウキビから「糖蜜」と「パカス紙づくり」をしたよ。千葉でもサトウキビは出来る!

谷津干潟ジュニアレンジャー (習志野市)

やつひがた かつどうはっぴょう げき
谷津干潟ジュニアレンジャーの活動発表は、クイズあり! 劇あり!

やつひがた じょうやく とうろく あいちけん ふしまえひがた
谷津干潟と同じくラムサール条約※に登録されている愛知県の藤前干潟や、オーストラリアのブوندル
しっち こうりゆう
湿地などとも交流しているよ。

あしわ しっち やつひがた わた
足環(フラッグ)をつけたキアシシギが、ブوندル湿地から谷津干潟へ渡ってきたんだって!



※ラムサール条約とは
湿地の保存に関する国際条約。
水鳥を食物連鎖の頂点とする
湿地の生態系を守る目的で、
1975年12月21日発効。

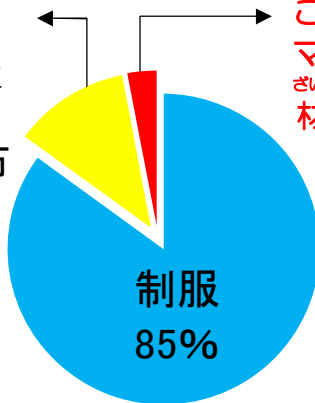
ここ せいふく のこ ぬの つか つく
午後のプログラムは「制服の残り布を使ってマイバッグを作ろう」

せんせい かぶしきがいしゃ かいほつほんぶかんきょうじきょうきかくしつ おぎりのほる
先生は株式会社トンボ 開発本部環境事業企画室の小桐 登 さんです。

つく はなし き
まず、なぜマイバッグを作るのかについてお話 を聞きました。

自動車の内装材、
スリッパの内側、
家の断熱材等に加工

端切れ・残布
15%



ぶぶん
この部分が
マイバッグの
ざいりょう
材料になる



ふくろ せきゆ げんりょう
レジ袋は石油が原料。
も はいしゆつ
燃やすとCO₂が排出
される。

つか
マイバッグを使って、
ちきゅう おんだんかほうし こうけん
地球の温暖化防止に貢献。

つづ
続いて、みんなでエコバック作り。



はり いと つか
針も糸も使いません。

りょうめん つく
両面テープとガムテープだけで作ります。



「こうやってやるんだよ」

きょうりょく つく
みんなで協力して作ります。



メンバーもサポーターもコーディネーター
しんけん せんせい せつめい き
も真剣に先生の説明を聞いています。

おも むずか
思ったよりも難しいです。



「できたよ！」

ほん だいじょうぶ
2ℓのペットボトルを2本入れても大丈夫。



できあがったバックはおみ
も かえ
やげとして持ち帰りました。

さいご きねんさつえい
最後にみんなで記念撮影。

はいポーズ!

